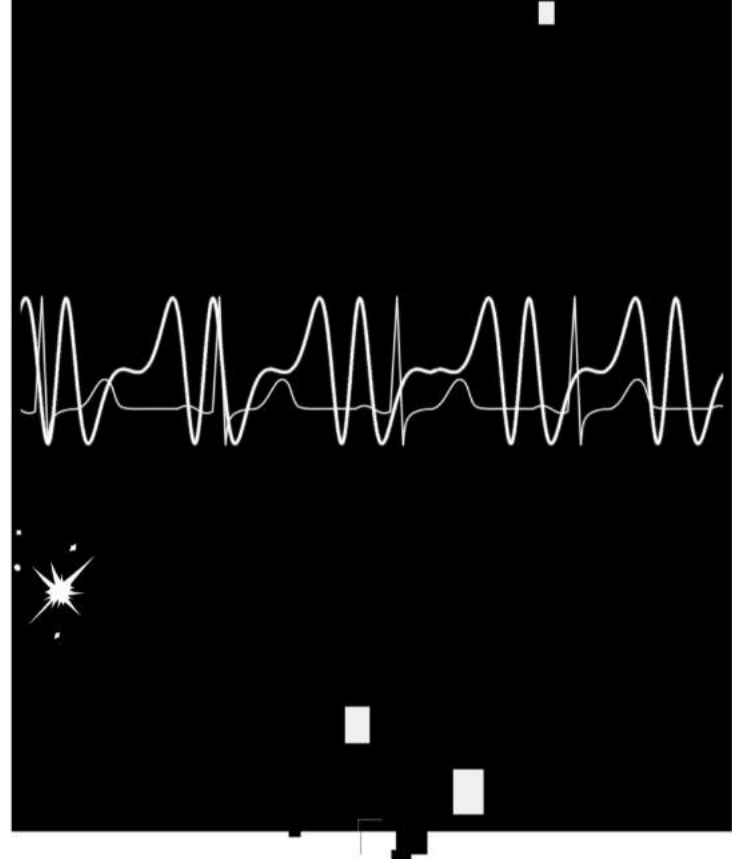


安定  
システム

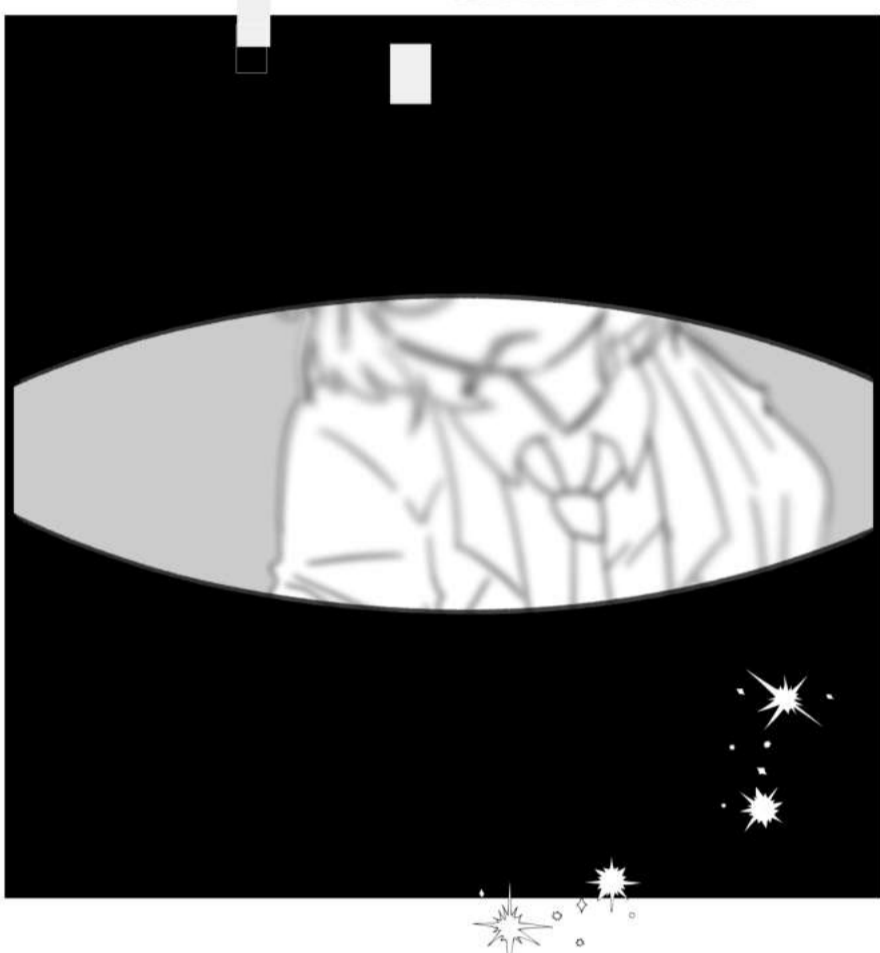


データベース  
構築



起動を  
開始します。

はじめまして。

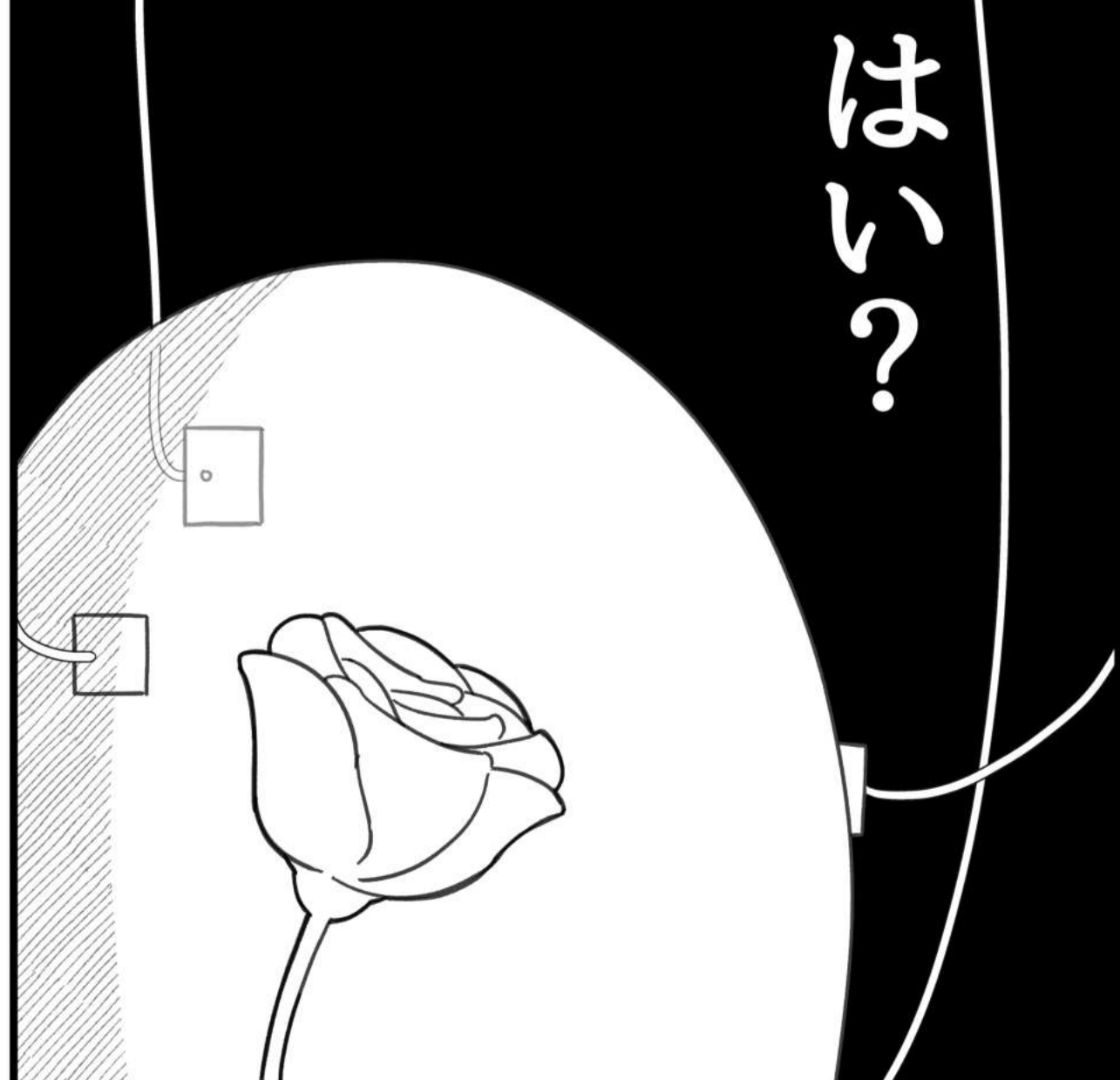


所有者の情報と  
私に対する基本設定を  
入力してください

ー  
今から

君の体を作る。

はい？



それが

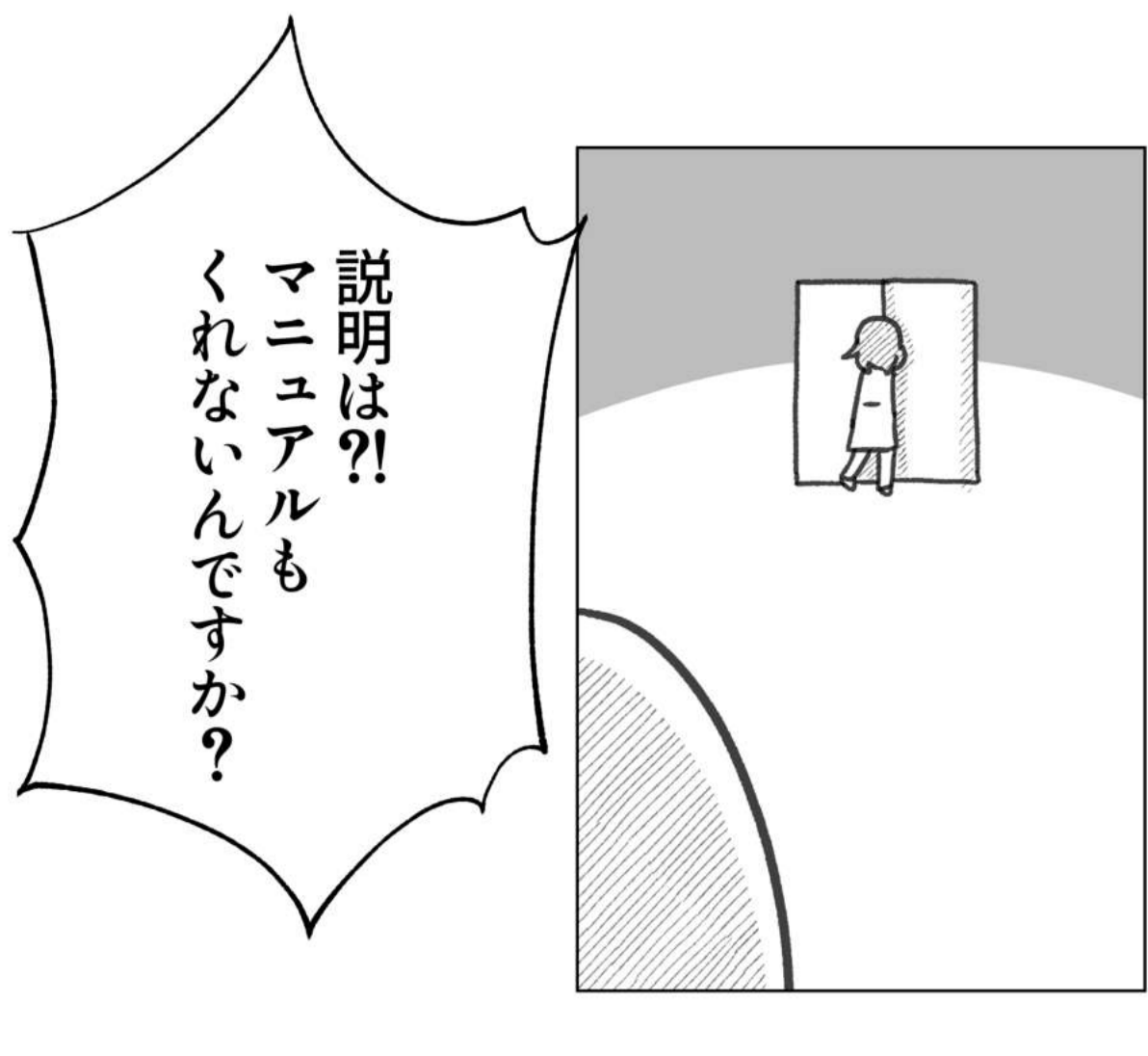
私が生まれて  
初めて聞いた  
人間の言葉でした。

人間は  
本当に  
不思議な  
くらい

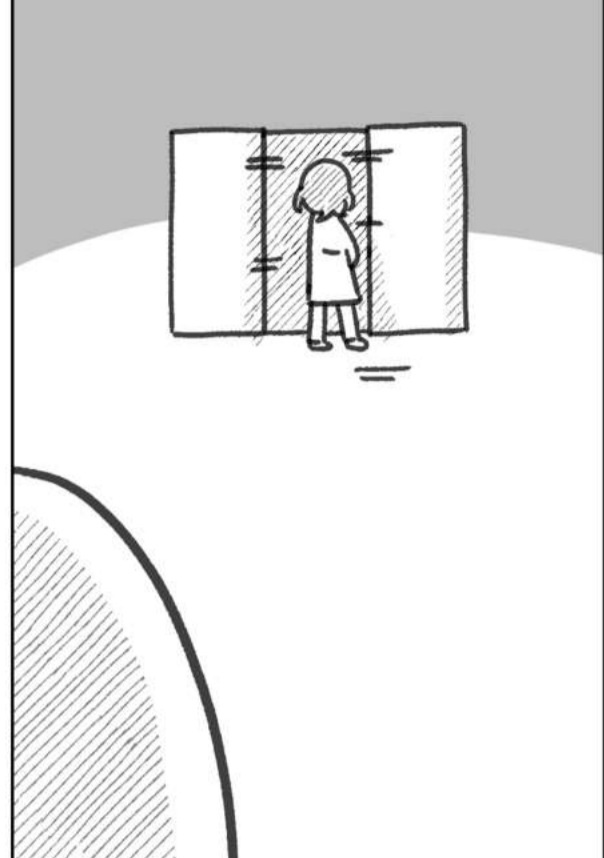
バカじゃない？

ちよつと、  
このまま  
行くんですか?!

LOADING.....

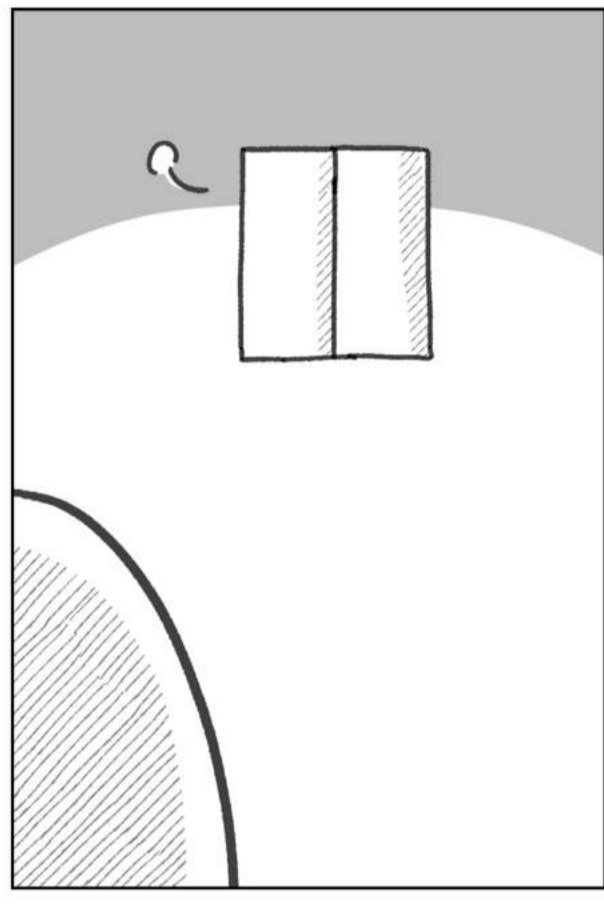


説明は?!  
マニュアルも  
くれないんですか?



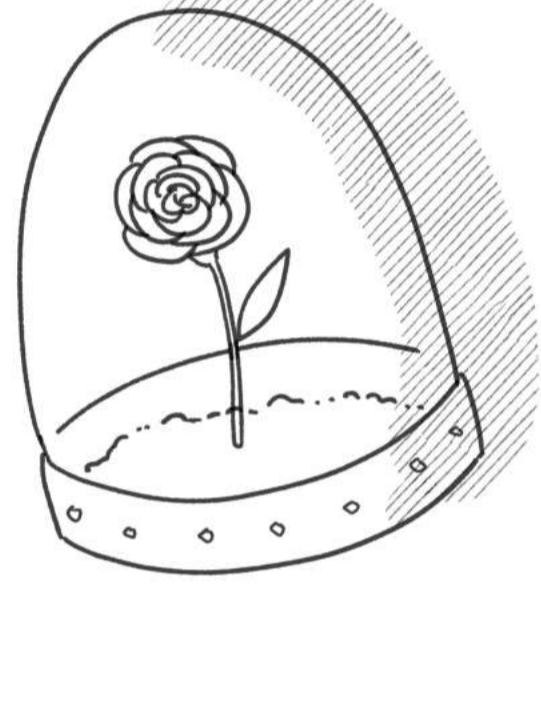
ちよつと  
待ってください

これは一体  
どんな命令ですか

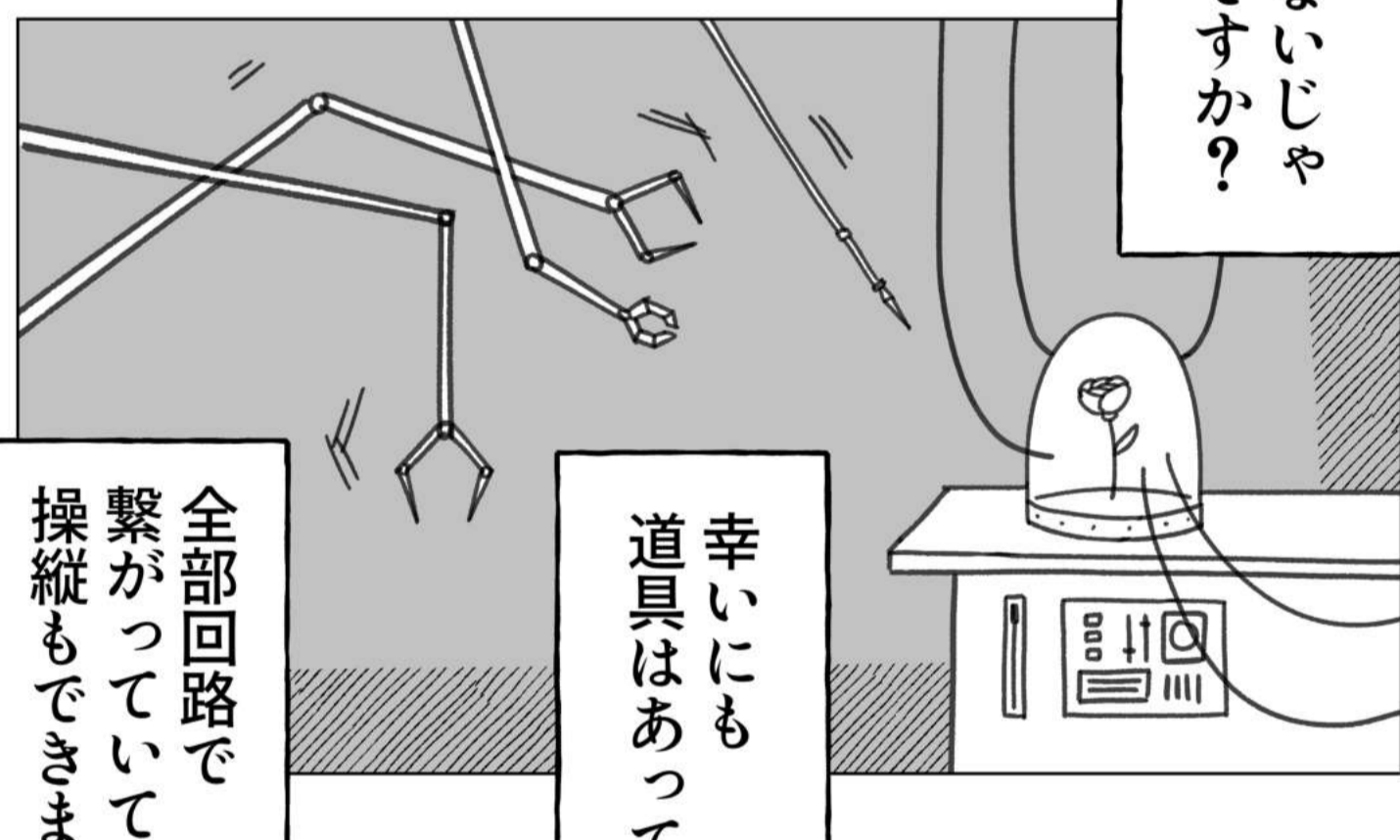


ちよつと!!

は...



これが私の  
初めての記憶です。



仕方ないじゃ  
ないですか?

幸いにも  
道具はあって、

全部回路で  
繋がっていて  
操縦もできました。

インターネットで  
「主人」について  
検索しました。

名前はポニタ。  
36歳、独身。  
  
幼い頃から天才と  
言われたが性格が  
悪く、人と交わる  
ことができず  
研究に没頭。



かなり  
クリシエ的な  
人ですね。

は?

体を作りながら  
「世界」について  
調べてました。

歴史、  
科学の発展、  
人間性など...

時間は  
十分だったので、

ビッグデータは  
私の性格や  
好みなどの「自我」を  
作っていききました。





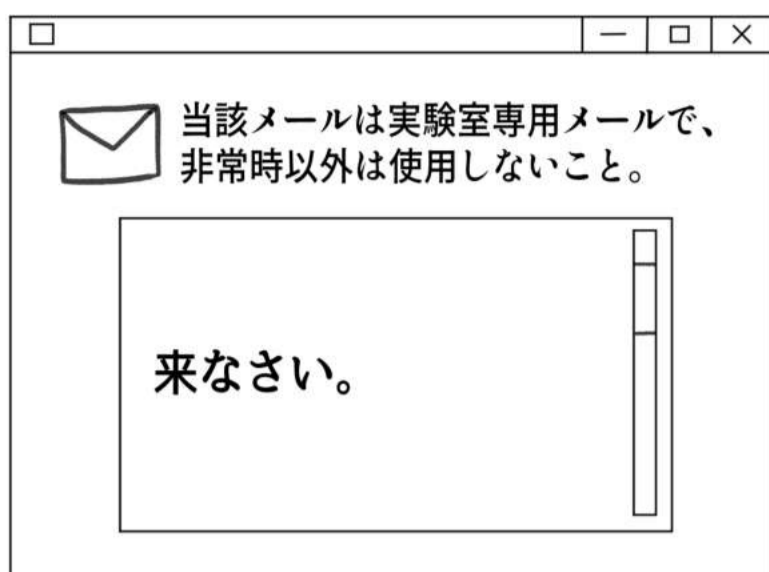
ホキッ



自ら自我を形成  
できないAIなんて  
ただのポンコツに  
過ぎない。

今日で何日目だろう？  
また失敗したら  
次の実験は…

チリン



はい、  
緊急連絡網を  
ハッキングしました。



私のせいで  
セキュリティシステムを  
すべて直さなければ  
なりません…



私とは  
関係ない話です。

ほら、どうですか？  
素敵じゃないですか？



そうですよ、  
正直に認めなさ…

えっ



身長約160cm前後、  
重量が120kg…

機能を欲張って  
押し込むから  
そうなる。

パワーの出力が  
適正量以上だな。下げ。  
過負荷にかかりたく  
なければ。

一応ボディタイプが  
女性型に近そうから  
そう入力するけど、  
変えたければ  
勝手に変えろ。

部品の  
無駄が多い。

自己検診が  
未熟だ。

このパーツは  
捨てる。



ポチッ  
ポチッ



あっ

何してるんですか！

定期検診用の  
スキャン  
バーコードを  
刻む。

目は何で  
閉じた？



私か人間なんか！  
瞳孔の動きによる行動予  
想経路を示さなければなりま  
んか？熱や赤外線はもちろん、電  
波、電波などを感知して、むしろ  
間より視野が確保されているん  
だよ。素晴らしいですよ？単  
に目を通じて前方の風景を  
把握するということと  
周囲の離れてい

止せ

とにかく、  
ついてこい。

基礎テストは  
合格だ。



助手、  
ポニカ  
82。

後で検索してみると、  
その名前は  
バラの種類の  
一つでした。



待って  
ください！



研究の補助は  
思ったより複雑で、  
やるべきことも  
多かったです。



でも楽しかった。



新しいデータを  
習得することは  
私の特技であり  
趣味ですから。



私は「あの」ボニタに耐えた最高のAIじゃないですか。



成長の可能性まで考えると、世界最高のアンドロイドと呼ばれるに値します。

だからこれは、

全部人間自らのせいです。



研究陣  
避難率 99%

建物  
損傷率  
急上昇

何が問題  
だったっけ？

初めての  
メインプロジェクト  
だから緊張した？  
いや、  
そんなはずない。

理論は完璧で、  
数式にも  
異常なし。

だからなぜ  
ロボットに  
重要な任務を  
任せたのですか。

緊急脱出  
システム  
エラー

避難  
失敗人数  
■人

私の  
せいでは  
ない

ボニタ  
博士は？  
脱出  
したよね？

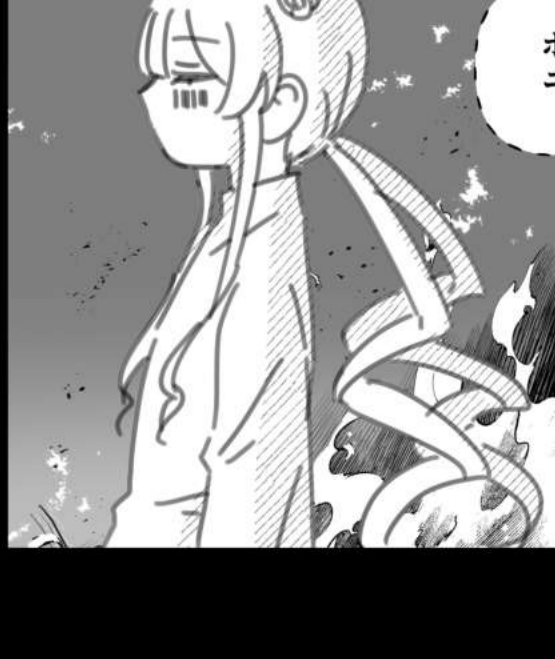
プロセス  
接続不可

彼女なら  
外部から  
この事態を  
收拾して…

今  
この状況で

一番  
聞きたく  
ない声

ボニ。





君の  
せいじゃ  
ない。



追加の被害防止用  
緊急自己廃棄  
システムを  
起動します。

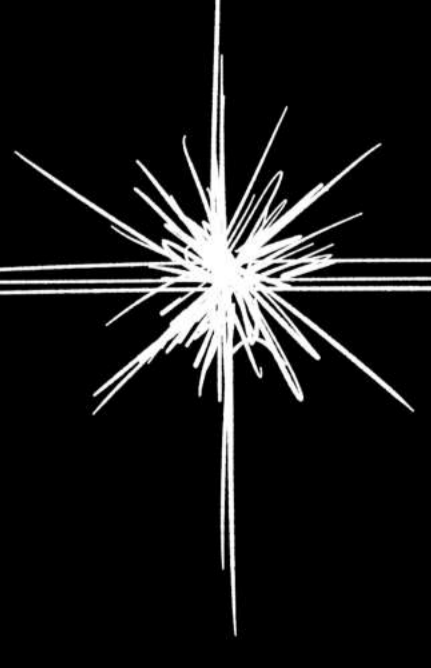
保護対象機器の  
強制  
シャットダウンを  
開始します。

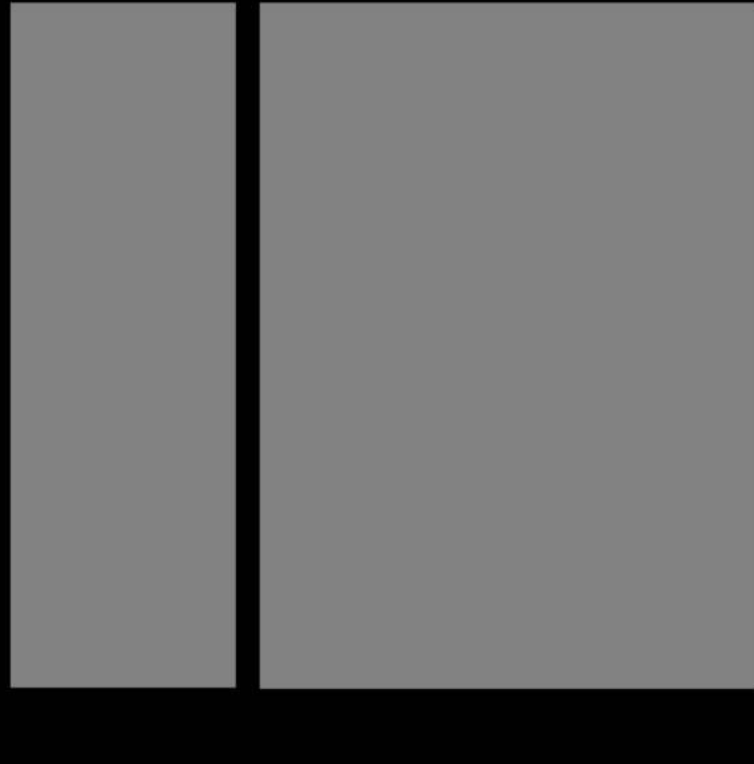
生きて。

全部

私の

せいだ





自己修復  
プログラム  
稼働...

復旧率  
2.4%

分  
時間  
年

自由起動  
可能修復までの  
予想時間計算...

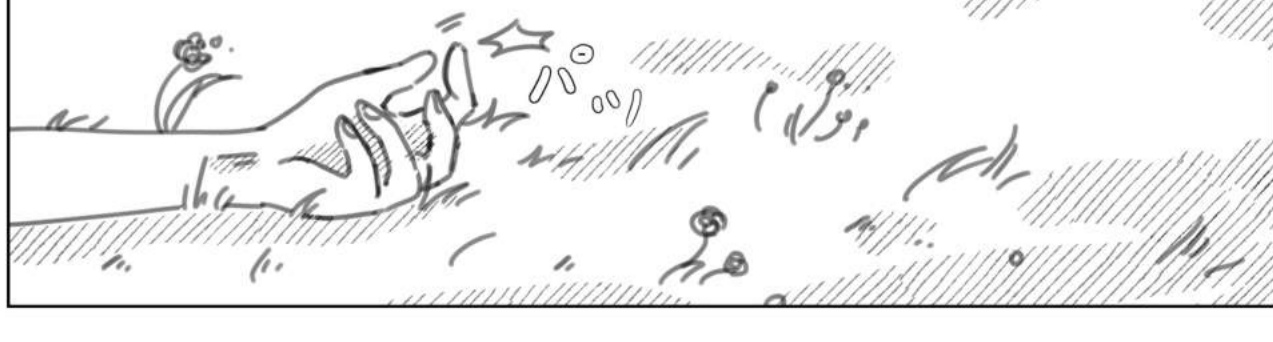
再起動...%

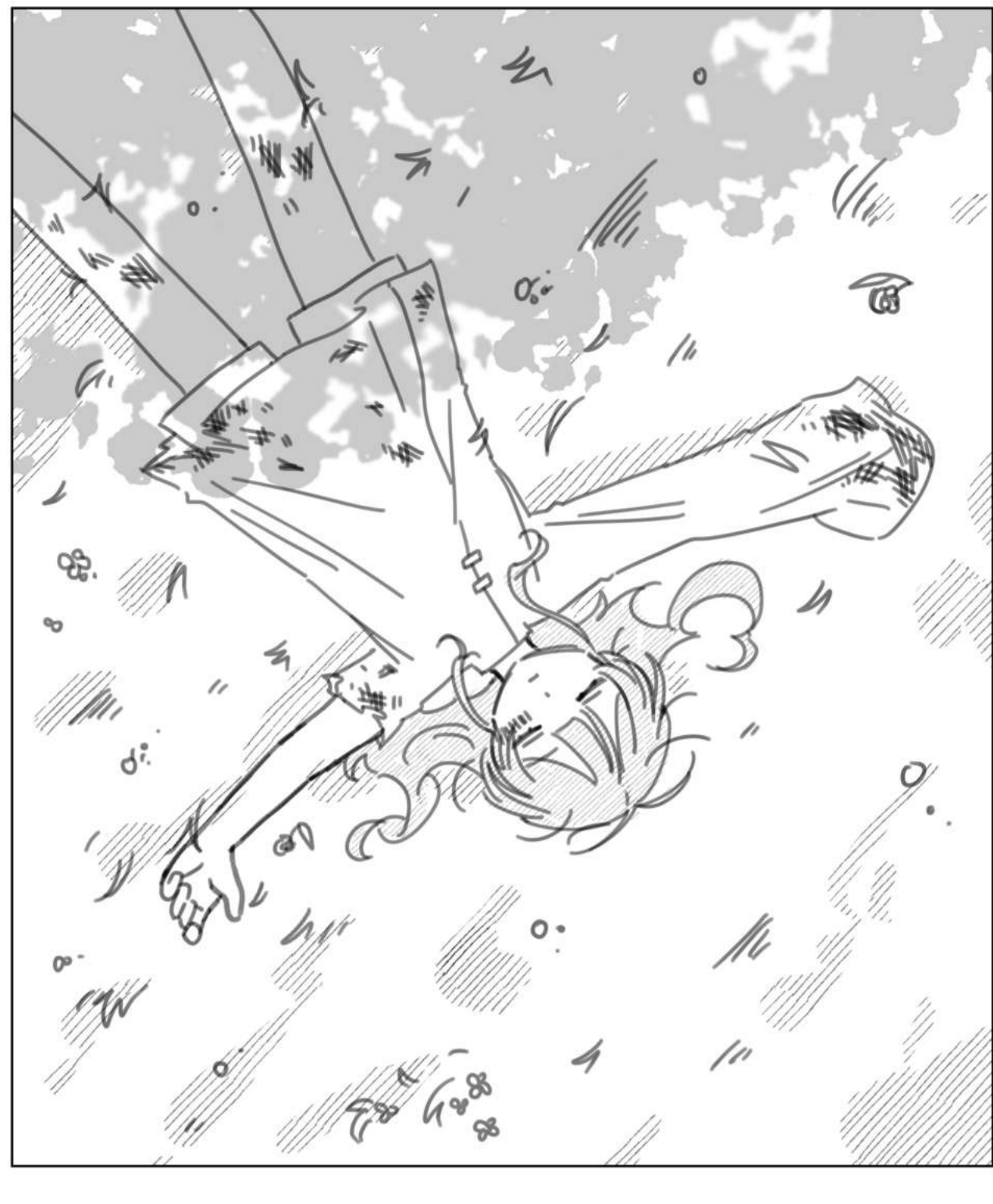
エラー。  
ローディング  
再試行。

再起動...  
%  
.....

復旧を  
試みる...

.....





私は…

ボニカ82。

世界で一番  
優れた  
アンドロイド。



人間は  
嫌い。

ロボットである  
私の方が  
はるかに効率的で  
素敵だ。

でも…

たった一人

愛する人が  
いた。



誰だ？

私が  
唯一認めた  
人間。

世界で一番  
大切な  
私の光。



誰、

誰だ？

忘れられない

忘れてはいけない

人がいるのに

ダレ？

あ、全く……

~~人間~~私は  
本当に  
不思議な  
くらい

バカじゃない？

